

項目	内容
名称	ハマナス、ハマナシ [英]Rugosa rose、 Japanese rose、 Hamanas rose、 Turkestan rose [学名]Rosa rugosa Thunb.
概要	<p>ハマナスは、北海道、千葉県、鳥取県以北の海岸の砂地に自生し、朝鮮半島、ロシアなど東アジアの温帯、亜寒帯に分布する高さ1.0～1.5 mの落葉低木で、6～8月に直径6～9 cmの濃桃色や紫色、白色の花をつける。</p> <p>平たい球形の偽果は黄赤色から紅熟する。花は漢方で用いられるマイカイカ<玫瑰花>であるとされるが、別物であるという説もある。</p>  <p>写真提供: 広島大・医薬薬・生薬学研究室</p>
法規・制度	<p>■ 食薬区分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・果実、花：「医薬品の効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質(原材料)」に該当する。 <p>■ 食品添加物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天然香料基原物質リスト ハマナスが収載されている。
成分の特性・品質	
主な成分・性質	<ul style="list-style-type: none"> ・花には、芳香精油 (シトロネロール (約60%)、ゲラニオール、シトラール、リネロール (約5～10%)、ノニルアルデヒド、フェニルエチルアルコール (約1%)、オ

イゲノール (約1%)を約0.03~0.2%の他、クエルシトリン、タンニン、没食子酸誘導体、多糖類を含む (29) ([PMID:15099449](#))。

- ・果実には、ビタミンCが多い (7) (29) (1988135670)。
- ・根にはトリテルペノイドを含む ([PMID:15635171](#))。
- ・葉にはセスキテルペンを含む ([PMID:11676018](#))。

分析法	-
有効性	
循環器・呼吸器	調べた文献の中に見当たらない。
消化系・肝臓	調べた文献の中に見当たらない。
糖尿病・内分泌	調べた文献の中に見当たらない。
ヒトの生殖・泌尿器	調べた文献の中に見当たらない。
で脳の感覚器	調べた文献の中に見当たらない。
評価免疫・がん・炎症	調べた文献の中に見当たらない。
骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
肥満	調べた文献の中に見当たらない。
その他	調べた文献の中に見当たらない。
参考文献	<p>(7) 中薬大辞典 小学館</p> <p>(29) 牧野和漢薬草大図鑑 北隆館</p> <p>(91) Registry of Toxic Effects of Chemical Substances (RTECS).</p> <p>(30) 「医薬品の範囲に関する基準」(別添1、別添2、一部改正について) (PMID:15099449) J Pharm Pharmacol. 2004 Apr;56(4):537-45.</p> <p>(PMID:15635171) Biol Pharm Bull. 2005 Jan;28(1):101-4.</p> <p>(PMID:11676018) Biosci Biotechnol Biochem. 2001 Sep;65(9):2037-43.</p> <p>(PMID:12646125) Allergol Immunopathol (Madr). 2003 Mar-Apr;31(2):91-3.</p> <p>(1988135670) 北海道立衛生試験所報. 1987;37:68-70.</p> <p>(22) メディカルハーブ安全性ハンドブック 第2版 東京堂出版 林真一郎ら 監訳</p>